

平成20年度市政懇談会での意見と回答

■総合振興計画

意見等の内容	回答	担当課
<p>・総合計画の基本構想、基本計画に異議はないが、説明がなかった ので、実施計画の内容が一切わからない。</p>	<p>・実施計画は企画推進課でご覧いただけます。また、市のホームページにもすべてを掲載していますので、ぜひご覧ください。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・基本構想の中で、市長の具体的な施策、考えはどうか。203事業のうち、金のない時の重点施策は何なのか。</p>	<p>・基本構想、基本計画を実現するため具体的に取り組むべきこととして、およそ650ある事業のうち203事業を選択し実施計画に掲げたもので、すべてが最重要課題と認識しています。なお、これらすべての施策に通じることとして、市民が誇りと思える魅力あふれる南丹市を築くため、市民の皆さんとの協働によるまちづくりの推進が不可欠と考えています。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・JR八木駅から南丹病院までの道路が不便であり、病院を生かしたまちづくりを進めるべきではないか。そのためには、住民一人一人の募金による基金をつくってはどうか。</p>	<p>・基金の話は大変ありがたいことです。厳しい財政の中、経費削減と同様に財源の確保も大切で、市ではふるさと南丹応援寄附金(ふるさと納税)を開始し、市外の方々にも広くご支援を呼びかけています。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・企業なら採算が合わなければやめにするが、小学校は残して欲しい。なぜ人口が減るのか、根本的に考えて欲しい。</p>	<p>・人口減少時代に突入し、市の総合振興計画においても減少を推計しており、いかに食い止めるかが課題です。 ・小学校の適正規模については、保護者、地域の皆さんと学校、教育委員会とで、議論をして行く必要があります。</p>	<p>企画推進課・教育総務課</p>
<p>・美山に若い人が住めるように考えていただきたい。八木などへの企業誘致で、美山からでも通勤できる。</p>	<p>・市外に転出した人が帰ってこられる、また、今住んでいる人の幸せにつながるようなふるさとづくりを実行していきます。 ・「南丹市総合振興計画」の中でふるさとで働ける場をふやす施策として、新たな企業誘致や起業支援を推進することにしています。</p>	<p>企画推進課・商工観光課</p>
<p>・地域振興会制度は8年目位を迎える。住民自治について、この制度を支援いただきたい。</p>	<p>・地域振興会は美山地域の実情に即してそれぞれの地域活性化を担っており、これからの南丹市の住民自治組織の有り方を検討しながら、実情に応じた支援を検討します。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・美山では住民団体が自然を大切にしてきた。自然は宝物、文化・伝統を引き継いでいくこと、トップとして時には厳しい判断も必要と思うが、美山があって南丹市があると考え、市政展開をお願いしたい。</p>	<p>・年間70万人を超える観光客は、自然を生かした集客であり、素晴らしいことと考えています。美山での定住には経済基盤の拡充が必要です。モデルフォレスト等も含め、自然の確保により何度も訪れたい美山であってほしいと願っています。</p>	<p>企画推進課</p>

<p>・鶴ヶ岡振興会では、中心地整備構想が固まった。市役所においても協力等お願いしたい。</p>	<p>・住民の皆さんとの協議により、必要な事業について検討します。</p>	<p>企画推進課</p>
<p>・「さば街道ネットワーク」が設置され、地域振興会を中心に進めており、市としてもご支援願いたい。</p>	<p>・地元の皆さん方の熱心な取り組みに敬意を表します。地域資源を生かし南丹市の魅力を全国に発信するため、できる限りのご協力をします。 ・西の鯖街道事業委員会と連携を強化し、シンポジウムやイベントへの参画により南丹市美山町をPRしていきます。</p>	<p>企画推進課・商工観光課</p>
<p>・総合振興計画にも、限界集落に対する対応策が盛り込まれているのか。</p>	<p>・第4章2(2)地域づくりに盛り込んでいます。集落の実態把握により再生に繋がる支援策の構築を行います。</p>	<p>企画推進課</p>